

2023 仙台市下水道フェア

第22回川柳コンクール入賞作品集

主催 仙台市下水道フェア実行委員会

2023 仙台市下水道フェア第 22 回川柳コンクール

ご あ い さ つ

仙台市下水道フェア川柳コンクールは、川柳を詠むことを通して、くらしの中の「水」について考えるきっかけとしていただくことを目的に、平成 14 年度から実施しており、今回で 22 回目を迎えました。

今年度は、児童・生徒、一般の方あわせて 379 名の皆様から 655 句のご応募をいただきました。素晴らしい作品を数多くお寄せいただき、心より感謝申し上げます。

作品の中では、連日の記録的な猛暑のなかで改めて感じる水の有難さ、一方で台風や大雨などによる天災の恐ろしさ、自然や日常の風景の美しさなど、皆様を感じ取ったことを日本の文化である川柳で自由に表現されております。

また、新型コロナウイルス対策による行動制限のない夏が戻り、久しぶりに再開したイベントを楽しむ様子が伝わってくる川柳も見受けられました。

この度見事に入賞された皆様の川柳を、表現されている情景や心情を想像しながら心ゆくまでご鑑賞ください。

令和 5 年 10 月 吉日

仙台市下水道フェア実行委員会

会長 仙台市建設局長 佐藤 秀樹

2023 仙台市下水道フェア第 22 回川柳コンクール

応募者数

	人 数	作 品 数
小 学 生	47校 243名	416句
中 学 生	15校 45名	67句
高 校 生	3校 6名	10句
小 計	65校 294名	493句
一 般	85名	162句
合 計	379名	655句

選者紹介

雫石 隆子 さん (宮城県川柳連盟理事長)

鈴木 俊光 さん (アナウンサー・

パーソナリティ)

佐藤 秀樹 (仙台市建設局長)

<仙台市下水道フェア実行委員会構成団体>

- ・全環衛生事業協同組合
- ・公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会東北支部
- ・全国ヒューム管協会東北支部
- ・一般社団法人 仙台建設業協会
- ・仙台リバーズネット・梅田川
- ・公益社団法人 日本下水道管路管理業協会東北支部 宮城県部会
- ・宮城県管工業協同組合
- ・公益社団法人 宮城県生活環境事業協会
- ・仙台市建設局

【特選】

選者 雫石 隆子

この地球 水に生かされ 水に泣く

若林区

山田 久美子

【ジュニア賞】

選者 雫石 隆子

かさのうえ あまつぶはしやぐ すべりだい 仙台市立長町小学校1年

刈谷 航大

【秀逸】

選者 雫石 隆子

わたしたちは 水に囲まれ 生きていく

宮城県仙台二華中学校1年

佐藤 優樹

100年の うるおい永久とわに また一歩

太白区

千葉 友幸

【入選】

選者 雫石 隆子

いってきも むだにはしない いのちのみず

仙台市立柳生小学校1年

彦坂 優愛

観光の 一翼カラー マンホール

泉区

佐藤 範子

じゃぐちから みずがぼたぼた ないている

仙台市立幸町南小学校4年

黒澤 亜梨紗

熱帯夜 ロックが直ぐに 水割りへ

宮城野区

笠松 芳之

あしもとに まるいポケモン みつけたよ

仙台市立八木山南小学校1年

大張 颯悟

すごいよね 自然を守る 下水道

仙台市立八乙女小学校3年

三瓶 衣都

【入 選】

選者 雫石 隆子

エアピストン 大雨の時 気をつけよう

宮城教育大学附属小学校6年 佐藤 奏仁

大雨に ゲップしている マンホール

太白区 島 文庫

限りある 今の地球の 水資源

仙台市立上杉山通小学校6年 鈴木 綾音

皆の為 節水しよう S D G s

宮城教育大学附属小学校6年 伊藤 龍之介

虹きらり ホースの先に 水彩画

仙台市立仙台青陵中等教育学校1年 三浦 和奏

水道は 唯一無二の いのち水

宮城野区 矢野 力

【特選】

選者 鈴木 俊光

名取川 魚にえびに もぐるぼく

仙台市立秋保小学校4年

杉山 慧翔

【ジュニア賞】

選者 鈴木 俊光

ふんすいは パイナップルの あたまみたい

仙台市立長町小学校1年

高橋 音花

【秀逸】

選者 鈴木 俊光

みずたまり マスクのないかお うつつたよ

聖ウルスラ学院英智小・中学校2年

須和部 知文

枯れ花に お礼水遣り 園児たち

太白区

木下 正恒

【入 選】

選者 鈴木 俊光

暑い日に カラの水筒 見上げてる

仙台市立七郷中学校2年

齋藤 百花

つかまえろ ぼうしで魚を はさみうち

仙台市立長町小学校4年

新田 湊大

ひと雨に 命をつないだ 夏の花

聖ドミニコ学院小学校6年

坂村 天音

クモの城 朝つゆ光る 夏の庭

仙台市立南光台小学校4年

三浦 大翔

夏休み 海だプールだ お祭りだ

仙台市立富沢小学校4年

萱場 惇登

雨が降り 桜が散った 春の朝

宮城教育大学附属小学校5年

星川 澪良

【入 選】

選者 鈴木 俊光

ほのさきに 朝つゆ光る ササニシキ

宮城教育大学附属小学校2年 野上 愛馨

下水道 コロナのことまで お見通し

聖ドミニコ学院小学校5年 角田 理緒

水をのむ ゴクゴク聞こえる のどの音

宮城教育大学附属小学校2年 出口 るい

苔むして 青下川から めぐる水

仙台市立将監中学校1年 酒井 理瑳

古井戸に 野菜を浮かす 盛夏かな

泉区 渋谷 昭三

じゃぶじゃぶと はかどる夏の 水仕事

若林区 奥村 まさ子

【特選】

選者 佐藤 秀樹

負け試合 涙ごまかす 浴びる水

宮城教育大学附属小学校6年 沼倉 陽生

【ジュニア賞】

選者 佐藤 秀樹

水飲み場 お湯が出てきた 夏休み

仙台市立東仙台小学校6年 本宮 樂久

【秀逸】

選者 佐藤 秀樹

マンホール きらり地面の 缶バッチ

仙台市立長町小学校3年 高橋 成実

田植之中 メダカに夢中 父息子

青葉区 白畑 充希

【入 選】

選者 佐藤 秀樹

水道水 バイ菌バイバイ ありがとう

仙台市立若林小学校2年 高橋 莉希

とうめいすい タニシが今日も いいしごと

宮城教育大学附属小学校3年 石森 朔仁

マンホール ふるさとの花 ハギ見つけ

宮城教育大学附属小学校6年 石森 仁心

高令者 絵柄マンホは 道知るべ

泉区 奈良坂 哲夫

待望の 雨に打たれる 夏の旅

青葉区 千葉 祐治

帰路急ぐ 靴濡れまいと 足弾み

宮城教育大学附属小学校6年 大友 瑛葉

【入 選】

選者 佐藤 秀樹

ホースから 水出し地域を 守る母

秀光中学校2年

我妻 花

猛暑日の 灼熱道路 善雨そそぐ

宮城県仙台第三高等学校2年

先崎 あかり

プールから みんなのえがお とびだすよ

宮城教育大学附属小学校1年

谷口 壮太郎

雨上がり 「待ってました！」と せみしぐれ

仙台市立長町小学校4年

刈谷 芽依

生活と 喉を潤す 二刀流

若林区

森 ちひろ

マンホール ヒールの大敵 でも愛し

泉区

菊池 恭子

【講評】 選者 雫石 隆子

(宮城県川柳連盟 理事長)

今年新型コロナが五類になって、制約の緩和も見られました。猛暑酷暑の暑い夏でした。そのためか一般の投句数が伸びず、少し淋しく思いましたが、国連事務総長の「温暖化から沸騰時代」との言葉も、驚きながらもさもありなんと言うところではあります。

さて、毎回のことながらジュニアの作品には目を見張りました。十七音字のリズム感を把握し、簡潔に大切なことを伝えるという方法をつけている人も多く、嬉しい限りです。思うこと、伝えたいことを、これからも五七五で残しましょう。

一句一句はそれぞれの足跡です。沢山の足跡を残しましょう。

特選

「この地球 水に生かされ 水に泣く」

若林区 山田 久美子

【評】地球は水の星です。水は命の根源であり、水を無くして生物は生きられません。この大切な「水」を十七音字中にリフレインして、強調しています。異常気象の際立つ今年、水害に泣いたところもありましたが、水資源を大切に致しましょう。

ジュニア賞

「かさのうえ あまつぶはしゃぐ すべりだい」

仙台市立長町小学校1年 刈谷 航大

【評】感性豊かな、そして観察眼の光る作品です。どの年にもまして雨の日が多く、まとめて降るのかと思う集中豪雨を「あまつぶはしゃぐ」と比喩的表現にも脱帽でした。五七五をこれからも楽しんで下さいね。

秀逸

「わたしたちは 水に囲まれ 生きていく」

宮城県仙台二華中学校1年 佐藤 優樹

【評】水に囲まれ生きています、まさに日本の姿です。豊かな水に支えられています。今年には線状降水帯の水害、また津波に遭う心配もあります。水と上手に付き合うことで、人生を豊かに致しましょう。

「100年の うるおい永久(とわ)に また一歩」

太白区 千葉 友幸

【評】今年には水道事業開始から100年です。私たちの暮らしの真ん中にあるのが「水」です。このうるおいの事業を、これからも大切にしたいですね。

入選

「いつてきも むだにはしない いのちのみず」

仙台市立柳生小学校1年 彦坂 優愛

【評】いつてきも無駄にしない、水の大切さを「むだにしない」と言いきっています。下五の「いのちのみず」の言葉も大切さを語っています。

「観光の 一翼カラーマンホール」

泉区 佐藤 範子

【評】観光としての役割も持つマンホール。味気ない歩道に七夕飾りが描かれたり、とデザインマンホールを訪ねるのも楽しいですね。

「じゃぐちから みずがぼたぼた ないている」

仙台市立幸町南小学校4年 黒澤 亜梨紗

【評】蛇口をきっちり閉めないで少しづつ、水が落ちてきます。それをぼたぼたとオノマトペを使って川柳にしました。水漏れを泣く、と表現して詩人ですね。

「熱帯夜 ロックが直ぐに 水割りへ」

宮城野区 笠松 芳之

【評】特別に暑かった今年の夏。晩酌はロック、とグラスの氷も溶けてしまう暑さでした。エーッと溶けた速さを私も経験しました。

「あしもとに まるいポケモン みつけたよ」

仙台市立八木山南小学校1年 大張 颯悟

【評】ポケモンのマンホールをみつけたうれしさ。それが足元にあたら驚きですね。無駄な言葉はなく、簡潔な一句が良いですね。

「すごいよね 自然を守る 下水道」

仙台市立八乙女小学校3年 三瓶 衣都

【評】下水や雨水を流す排水路、この施設があつて環境が守られます。これを気付いて「すごいよね」との上五、状況を把握する目がある3年生ですね。

「エアピストン 大雨の時 気をつけよう」

宮城教育大学附属小学校6年 佐藤 奏仁

【評】エアピストン、川柳作品では初めての言葉です。大雨でいっぱいになった、マンホール蓋が持ち上がり、事故になる危険大です。

「大雨に ゲップしている マンホール」

太白区 島 文庫

【評】右記の作品と同じモチーフです。「ゲップして」と擬人法ですが、人生経験が書かせたものでしょう。具体的に良いと思います。

「限りある 今の地球の 水資源」

仙台市立上杉山通小学校6年 鈴木 綾音

【評】水資源にも限りがある、と高学年らしい気つきのある一句。当たり前のように、豊かな水を使っている者への警告でもあります。

「皆の為 節水しよう SDGs」

宮城教育大学附属小学校6年 伊藤 龍之介

【評】日本の豊かな水を未来にも繋げよう、というSDGs。皆の為は今生きる人だけではなく、未来の人々も含めている。句柄が大きい。

「虹きらり ホースの先に 水彩画」

仙台市立仙台青陵中等教育学校1年 三浦 和奏

【評】感覚的な一句。ホースの先に見る水彩画は虹のように光っている。夏の日のワンシーンだが、見過ごしがちなものを捉えた一句です。

「水道は 唯一無二の いのち水」

宮城野区 矢野 力

【評】入選一句目と同じモチーフ、いのち水。四字熟語を使っているが、これ以上の言葉は「いのち水」に對してないと思います。

【講評】 選者 鈴木 俊光

(アナウンサー・パーソナリティ)

暑い暑い夏でしたね。水もずいぶん飲みました。シャワーもしょっちゅう使いました。雨の少ない期間もあり、いつ節水の呼びかけがあるかとヒヤヒヤしていました。エアコンもフル稼働でした。高校野球、世界陸上とテレビもずいぶん見ました。いつ節電の呼びかけがあるかとビクビクしていました。一方、頭の中には限りある資源を無駄にはいけないというSDGsの四文字が浮かんで消えています。今地球は沸騰しているといわれています。こうした傾向の天候は今後も続くのでしょうか。線状降水帯なる被害をもたらす豪雨も日常的に出現するのでしょうか。私たちは覚悟をもった生活をしなければいけませんね。

特選

「名取川 魚にえびに もぐるぼく」

仙台市立秋保小学校4年 杉山 慧翔

【評】秋保を流れる名取川の清流。安全な場所での川遊び、大きく息を吸ってザブン。そこにいたのは川の生き物たち。ぼくを歓迎してくれました。

ジュニア賞

「ふんすいは パイナップルの あたまみたい」

仙台市立長町小学校1年 高橋 音花

【評】四方八方に噴き上げるふんすいの姿は正にパイナップルの頭ですね。観察眼と発想力がすごい。硬くてトゲのある葉ですが、植えると根付くそうです。

秀逸

「みずたまり マスクのないかお うつつたよ」

聖ウルスラ学院英知小・中学校2年 須和部 知文

【評】三年間のマスク生活から解放されたときはほっとしましたね。お友達とも見つめ合いました。水たまりにうつった自分の素顔も新鮮でした。

「枯れ花に お礼水遣り 園児たち」

太白区 木下 正恒

【評】今年の草花は可哀そうでした。特に鉢植えやプランターの植物への水遣りは追いつかなかったことがあります。お花さんごめんなさい。園児たちの優しい気持ち。

入選

「暑い日に カラの水筒 見上げてる」

仙台市立七郷中学校2年 齋藤 百花

【評】あつという間に飲み干してしまうほどの暑さ続きでした。最後の一口、一滴を求めて水筒を覗きこむ様子がうかがえます。

「つかまえるろ ぼうしで魚を はさみうち」

仙台市立長町小学校4年 新田 湊大

【評】網を持ってこなかったことを後悔します。二人呼吸を合わせて帽子ですくいとれるのでしょうか。魚も必死です。

「ひと雨に 命をつないだ 夏の花」

聖ドミニコ学院小学校6年 坂村 天音

【評】雨が待ち切れず枯れた花もあれば、ぎりぎり間に合ったにわか雨に救われた花もありました。水の方、植物の生命力を感じます。

「クモの城 朝つゆ光る 夏の庭」

仙台市立南光台小学校4年 三浦 大翔

【評】クモの巣をお城に見たてました。定規も分度器もないのに実にきれいに設計されています。そこに朝つゆキラリ。女王様のティアラのダイヤモンドかも。

「夏休み 海だプールだ お祭りだ」

仙台市立富沢小学校4年 萱場 惇登

【評】待つてました夏休み。自由研究、読書感想文はひとまず忘れて、まず楽しもうぜ夏休み。

「雨が降り 桜が散った 春の朝」

宮城教育大学附属小学校5年 星川 滯良

【評】花のいのちは短くてくだから桜は愛されるのでしょう。開花の前に降る雨を「催花雨(さいかう)」満開後の雨を「花散らしの雨」ともいうそうです。

「ほのさきに 朝つゆ光る ササニシキ」

宮城教育大学附属小学校2年 野上 愛馨

【評】今年の野菜や果物は、気温が高すぎて、不作の物もあるそうです。また水不足で枯れた田んぼのニュースもありました。朝つゆがのったササニシキは豊作でありますように。

「下水道 コロナのことまで お見通し」

聖ドミニコ学院小学校5年 角田 理緒

【評】下水を調べて感染予測は有名になりました。去年の句は「リトマス紙」でした。今年はもっと先まで「お見通し」となりました。

「水をのむ ゴクゴク聞こえる のどの音」

宮城教育大学附属小学校2年 出口 るい

【評】今年の夏はほんとはよく水、麦茶を飲み、アイスを食べました。一杯目のお水は自然にのどがなつてしまいますよね。

「苔むして 青下川から めぐる水」

仙台市立将監中学校1年 酒井 理瑛

【評】広瀬川の源流、青葉区大倉の水源青下川を視ての句。清らかな水が深い森とコケむした岩の中からわき出ていました。今蛇口から出ている水もあそこからと思うと感動しますね。

「古井戸に 野菜を浮かす 盛夏かな」

泉区 渋谷 昭三

【評】冷蔵庫のない時代、スイカは地下水をくみ上げ、たらいに入れて冷やしました。井戸ならもっと冷えそうです。今井戸は少なくなりましたが、災害時に利用できるとして貴重な存在です。

「じゃぶじゃぶとはかどる夏の 水仕事」

若林区 奥村 まさ子

【評】気持ち良さそう。手のひらには熱交換器があるそうです。夏は手のひらを水につけて温度の上がった血液を下げて身体に戻し、冬冷たくなった手のひらを無意識のうちにヒーターにかざすのは血液の温度を上げて身体に戻し、体温を上げるためだそうですよ。

【講評】 選者 佐藤 秀樹

(仙台市建設局長)

第22回川柳コンクールに、たくさんのご応募をいただき、本当にありがとうございます。

今年も、幅広い年代の方々から表現豊かな句をご応募いただきました。日頃、あまり意識されることのない下水道ではありますが、見えないところで水をきれいにしたり、大雨から街を守る働きをしています。この川柳コンクールを通して下水道その他の水環境について考えていただくきっかけとなりましたら大変嬉しく思います。

応募作品の中には、マンホールに関する川柳も数多く見受けられ、デザインマンホールなど、日々の生活の中でも身近に感じていただいている印象を受けました。応募いただいた皆様が、それぞれの視点で、水とともにある生活を多様な感性で表現されており、とても感銘を受けました。来年も多くの方々に応募いただけるよう願っております。

特選

「負け試合 涙ごまかす 浴びる水」

宮城教育大学附属小学校6年 沼倉 陽生

【評】小学校最終学年に仲間と共に挑んだ試合だったのでしよう。涙を隠したいため浴びる水に悔しい思いが一層伝わってきます。これまでの努力をたたえたいと思いました。

ジュニア賞

「水飲み場 お湯が出てきた 夏休み」

仙台市立東仙台小学校6年 本宮 樂久

【評】思わず大きくうなずいてしまいました。夏の暑さで水飲み場の水が思ってもみないお湯になっていて、びっくりした瞬間が印象に残りました。

秀逸

「マンホール きらり地面の 缶バッチ」

仙台市立長町小学校3年 高橋 成実

【評】デザインマンホールを缶バッチに例える感性が素晴らしいと思います。マンホールが一層輝きを増したようで、誇らしく思え嬉しく感じました。

「田植之中 メダカに夢中 父息子」

青葉区 白畑 充希

【評】きれいな水に棲むメダカ。夢中で探している父と息子。優しいまなざしで見ている母。心温まる家族の情景が浮かんできます。

入選

「水道水 バイ菌バイ菌 ありがとうございます」

仙台市立若林小学校2年 高橋 莉希

【評】水は汚れを落としてくれますね。きれいになっていく様子が、素直な言葉でテンポよく表現されていると感じました。

「どうめいすい タニシが今日も いいしごと」

宮城教育大学附属小学校3年 石森 朔仁

【評】水槽の生物を毎日観察しながら、大切に育てている様子が目に浮かびます。タニシの力を日々実感している気持ちがよく伝わってくる微笑ましい一句でした。

「マンホール ふるさとの花 ハギ見つけ」

宮城教育大学附属小学校6年 石森 仁心

【評】きっと愛着を持ってマンホールを見てくれていたんですね。「あつ ハギだ！」と仙台市の花を見つけた時の嬉しさが伝わってきました。

「高令者 絵柄マンホは 道知るべ」

泉区 奈良坂 哲夫

【評】久しぶりの外出だったのでどうか。デザインマンホールの絵が目印となってお役に立ったことを知り、嬉しい気持ちになりました。

「待望の 雨に打たれる 夏の旅」

青葉区 千葉 祐治

【評】猛暑で望んでいた雨とはいえ、コロナが落ち着き、待ちに待ったせわの旅行で打たれるほど強い雨になってしまふとは。複雑な気持ちが伝わってくる一句と思います。

「帰路急ぐ 靴濡れまいと 足弾み」

宮城教育大学附属小学校6年 大友 瑛葉

【評】下校途中に突然土砂降りの雨にみまわれたのでしょうか。困りながらも、走る足取りが楽しそうにも思えてきます。

「ホースから 水出し地域を 守る母」

秀光中学校2年 我妻 花

【評】ホースから出る水の力強さと、消防士として地域を守るお母さんの姿が重なります。お母さんを誇りに感じている気持ちが印象に残る一句と思います。

「猛暑日の 灼熱道路 善雨そそぐ」

宮城県仙台第三高等学校2年 先崎 あかり

【評】今年は猛暑が続キアスファルトも人もとろけうでした。そこに天からの打ち水で生き返る様子がつくづくと共感できる一句でした。

「プールから みんなのえがお とびだすよ」

宮城教育大学附属小学校1年 谷口 壮太郎

【評】やっとみんながプールに入れるようになりましたね。たぐさんの笑顔とはしゃぐ声がプールから聞こえてくる躍動感のある一句と感じました。

「雨上がり 「待ってましたー」と せみしぐれ」

仙台市立長町小学校4年 刈谷 芽依

【評】雨でピタッと止んだせみの鳴き声が、雨上がり一斉にさらに力強く聞こえたのですね。せみの喜びが一気に伝わってきました。

「生活と 喉を潤す 二刀流」

若林区 森 ちひろ

【評】今年ほど水が美味しく感じる年はなかったのではないのでしょうか。身近な水も二刀流と表現され、スーパースターになり喜んでいると思います。

「マンホール ヒールの大敵 でも愛し」

泉区 菊池 恭子

【評】おしゃれをして急ぐ足取りを止めてしまったマンホールもバツが悪かったことでしょう。ヒールが傷ついても愛しと思っていたありがたいがどうございます。

